

レコーディングの進行. 2 (ボーカル. コーラスの録音)

Vo. 録り (ボーカル録り)

バック音楽の録音が完成したら、いよいよVo. 録り (ボーカル録り)にはいります。方法としては一度ボーカル全部の録音をしてから細かい部分を修正する方法と、最初からブロックごとに録音する方法があります。パンチイン. パンチアウトで修正する場合がありますがアマチュアなどレコーディングになじみのない方は、大きなブロックで修正した方がよいと思います。

7-1 体調に注意!

歌は、ボーカルの体調によって大きく左右されます。したがって、ボーカル録りの前には細心の注意をしましょう。また、録音する時間帯にも気をつけ、早朝や深夜など本来の調子が出ない時は極力避けましょう。

7-2 セッティングに注意!

マイクの種類やセッティングによって大きく音色が変わります。マイクとの距離が近づくほど Low が持ち上がり、プレスやリップノイズがはっきり浮かび上がりますが、ささやくような効果を狙うならばよいでしょう。また、離れれば離れるほど Low. と High が均一化しますがオフっぽい音になってきます。しかし、特に音量があり張り上げるような歌い方をする場合などはよいと思います。サビの部分などで大きく音量が変わる場合などはこれらの事を考慮し自分で調節するのもよいでしょう。

7-3 その他

フレーズによっては、どうしても一度には歌えない場合もあり、そういう場合はトラックを分けて録音することになります。また、サビなどでインパクトを狙ったり音を太くするために同じ歌を二度歌い、ダブリングすることもありますので、歌を何テイク録音するかによって必要なトラックをあらかじめ確保しなければなりません。

Cho. 録り (コーラス録り)

Vo. 録りが終わると、コーラス録りにはいります。ハモリのライン等は事前に細かく検討してよく練習しておく必要があります。特にVo. 本人がハモル場合はいつもはしないことをするので、そのための練習が必要です。ラインを取りにくい場合は、ガイドのラインを Key. 等でいれておくともよいでしょう。

人数感を出すために一本のマイクで何人ががコーラスを録音する場合は、それぞれの声量の違いに気をつけて立ち位置を決めて下さい。